

Vericut の導入により、 業務効率を改善された 事例をご紹介します。

多くの企業がVericutを選び、加工効率を向上しています。

CNCシミュレーションソフトウェア Vericutは、実際の加工前に、PC上で機械加工シミュレーションを行い、機械部品・治具・工具の破損、またはCNCマシンの事故につながるミスを無くすことができます。また、ミスの排除だけで

なく、最適化モジュールによってサイクルタイムを短縮し、加工効率を改善できます。さらに、Vericutは切削モデルを利用した精確な測定や、インスペクション（検査シートの作成）など、多くの便利な機能も提供します。



単純ミスによって材料を無駄にしたり、工具やCNCマシンまでも損傷してしまう恐れがあります。

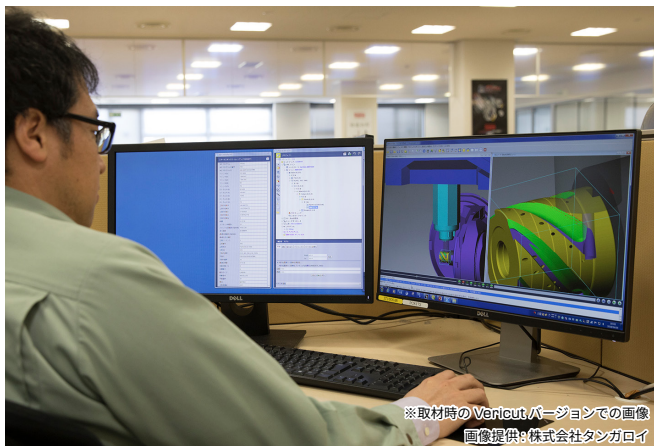
また、納期に間に合わなくなるかも知れません...

もし、加工現場でのトラブルを未然に防ぎたい、
と真剣にお考えなら、Vericutの導入をご検討ください！

CGTechについて

Vericutへの投資は、単にソフトウェアを購入するということだけではありません。この業界で最も先進的で発展性のある技術パートナーとチームを組むということなのです。

- » Vericutのシミュレーション技術を含む我々の製品は、すべて社内開発されています。そのため、開発者による迅速な変更や特別なカスタマイズを可能にしています。
- » 営業やテクニカルサポートなど、CGTech社員の定着率は非常に高く、世界中に代理店があります。これにより、お客様は経験豊富な担当者と長期的なビジネス関係を築けます。
- » CGTechは1988年に設立され、安定した運営を継続しています。ほとんどの国に、Vericutをよく知る多くのユーザーがいます。
- » CGTechは、製造業が直面する多くの課題を見えました。CGTechは、常に世界中で新しい製造方法や技術に触れているため、絶えず変化している産業界のニーズに素早く対応できます。
- » 世界中の多くの主要な会社から認定されたベンダーとして、CGTechは「ものづくり」において信頼できるパートナーであり続けます。



株式会社タンガロイ

情報システム部

所在地 福島県いわき市好間工業団地 11 番地 1
 会社創立 1934 年 12 月 19 日
 従業員数 約 1,540 名 (全社)
 業務内容 粉末冶金製品、超硬工具
 及び産業製品の製造販売
 URL <http://www.tungaloy.com/>
 基幹システム、CAD/CAM システム、情報インフラの開発、保守、運用支援を担うグループ。



Profile

写真左：平塚 友望 氏
 幼少期からジオラマ制作などが好きで、ものづくりの世界で働くことを志し、2011 年に入社。主に CAM 関連システムの開発保守、運用支援を担当し、Vericut 導入に携わる。現在は新規導入した設備向けの CAM 環境構築も担う。

写真右：部長 小林 正則 氏
 入社以来、情報システム畑一筋。現在、社内 CAD/CAM や工場内の生産管理などの情報インフラ、ネットワークなどの基幹システム全てを統括する責任者として活躍中。Vericut を「念願叶ってようやく導入できたソフト」と評す。

部署間をつなぐ最適ツール

導入した経緯、活用状況を聞かせてください

平塚：2008 年、イスカルを中核とする IMC グループ入りしたのがきっかけです。以降、自社で利用していたソフトウェアを見直し、順次 IMC グループ共通のソフトウェアへの切り替えを進めました。Vericut はグループ共通のシミュレーションソフトです。現在、主に機械干渉や加工形状の確認に使用しています。機械干渉の確認が可能で早送り箇所を多く指定できるため、加工時間の大幅な短縮につながりますし、目安の加工時間も算出できるため、製造原価の把握も容易になりました。

小林：Vericut を通して、目安の製造時間を多少手間かけてでも事前把握できるのは、製造原価算出のための重要な要素なので、貢献度は非常に高いですよ。

Vericut の魅力とは？

平塚：①詳細なカスタマイズ設定②操作性③サポート体制の 3 点でしょうか。特に②に関しては、現在弊社は CATIA 製 CAM を使用していますが、専用のインターフェイス (CATV) を介して、CAM 上で設定した工具や材料形状などの情報を Vericut に容易に取り込めるので、スムーズな環境ファイル作成やシミュレーションができています。

欠かせない機能は？

平塚：使用者全てに共通するかもしれませんが、やはり「干渉確認」と「オートディフ」でしょうか。前者は例えば、加

工時間の短縮を考慮し、最低限の逃げ動作を CAM で指定した際の、実機上での各軸の動作速度や順序の相違、機械の許容範囲以上のワーク加工における干渉確認などでとても役立っています。後者は、設計モデルと実際の加工形状の誤差を、各所測定する必要なく、視覚的に一瞬で判断できるため、不良品の大幅な削減にもつながっています。また、各種工作機械向けのポストプロセッサ作成にも、Vericut を有効に活用しています。

Vericut はズバリどんなソフトでしょうか？

平塚：社内の情報システムを統括する我々と開発・設計・製造部門など、「部署間をつなぐ最適なツール」ですね。いわき以外の工場で起きた問題に対して、機械前にいなくても画面を通して容易に情報共有できますし、原因追究するための検証ツールとして、とても有効です。

小林：不具合の再現もできますし、Vericut がなかったら製造リードタイムの短縮は、決して容易ではなかったと思います。用途は異なりますが、シミュレーションをムービー保存できるため、毎年新入社員向けに行う部署案内の紹介映像として見せたら、分かりやすいと大変好評でした。

導入検討中のユーザーに向けてひと言

平塚：Vericut を利用していない部署に導入する場合、利用にあたって手数は多少増えます。それでも最適なカスタマイズにより、最小限の手数で大きなメリットを得ることができる、そんな使い勝手の良いソフトウェアです。



福島県いわき市の本社。



同社の優れた製品を産み出す生産設備。



旋削、転削、穴あけ加工など様々な工具をラインナップ。